



松本市図書館だより

令和元年10月1日発行 第76号

編集・発行 松本市
中央図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099



読書の秋

みなさんは「〇〇の秋」と言えば何を思い浮かべますか？食欲・芸術・スポーツ・行楽…。あげだすときりがありませんが、やっぱり「読書の秋」ですよ。

10月27日(日)～11月9日(土)までは読書週間です。図書館まつりやリサイクル市など読書週間にちなんだイベントを開催しますので、ぜひお越しください！

『芸術がわからなくても美術館がすごく楽しくなる本』 藤田 令伊/著 秀和システム



「美術館＝展示をみる」だけではなく、様々な角度から美術館のあり方・楽しみ方を紹介しています。巻末には著者おすすめの美術館100も。長野県美術館も紹介されていますので、芸術の秋・行楽の秋にお出かけしてみたいかたがたでしょうか？

秋のおすすめ本



『はじめてのアジアごはん』 橋本 加名子/著 柘出版社

著者が現地で学んだ本場の味を、日本でも作れるようにと再現したレシピ本です。定番の生春巻きや小籠包のほか、人気のタピオカミルクティーや話題のバインミーまで様々なアジアごはんが紹介されています。食欲の秋に世界の味に出逢ってみてください♪

読書週間のマークはご存知ですか？

読書週間を身近に感じていただくためにマークを紹介！



こちらが読書週間のマークです♪
なぜふくろうの形なのでしょう？



その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でもありました。古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしています。森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、読進協では長い間使用してきました。(読書推進運動協議会ホームページ)



10月イベント・お知らせ



♡お花のキャンドル作り

日時：10月12日(土) 午前10時30分～12時
場所：波田文化センター3階 会議室
定員：10名(要申し込み) 講師：小林 佐喜子先生
材料費：1,000円 持ち物：エプロン
申し込み・問い合わせ：波田図書館 ☎92-7503

♡エコクラフト講座

日時：10月12日(土) 午前10時～12時
場所：中山文庫 会議室 定員：10名(要申し込み)
講師：霜田 さな江先生(クラフトかご作り bless)
材料費：500円
申し込み・問い合わせ：中山文庫 ☎58-5666

♡てのひらサイズのポーチづくり

日時：10月24日(木) 午前9時30分～12時頃
場所：島内公民館 講義室 定員：10名(要申し込み)
講師：丸山 和代先生(チクチクの会)
材料費：500円 持ち物：裁縫道具
申し込み・問い合わせ：島内図書館 ☎48-2711

♡ヒンメリ風チャームでブックマーカーをつくろう

日時：10月30日(水) 午前10時～11時30分頃
場所：あがたの森文化会館 1-1 教室
講師：細田 千恵先生(趣味の店 zuku)
定員：10名(要申し込み) 材料費：700円
申し込み・問い合わせ：あがたの森図書館 ☎32-1761



リサイクル本配布予定

★10月20日(日)11時～15時 寿台体育館 ★10月19日(土)・20日(日)空港図書館 会議室
★10月26日(土)～11月9日(土)中央図書館 1階ロビー (空港・中央図書館は開館時間中)



新刊のご案内



「日本全国歩いた！調べた！ トク盛り「名刺」丼 高信 幸男/著 柏書房

【288頁 所蔵館：鎌田 中山 空港】

日本にはどのくらいの名刺があるの？そもそも名刺って何？そんな名刺に関する様々な疑問を解き明かしてくれる1冊です。全国&都道府県の名刺ランキングではみなさんの名刺がランクインしているか探してみてください。難読名刺クイズもありますので挑戦してみてくださいはいかがでしょうか？

「和歌と暮らした日本人」 浅田 徹/著 淡交社

【911.1 ア 所蔵館：中央 あがたの森 鎌田】

和歌には次の特徴があります。①メールのようなメッセージとして使える②どうしても吐露せずにはいられない気持ちを表現できる③出世や政治のための教養となる④日記代わりにの記録になる⑤みんなで詠んで楽しむ。本書は和歌が現代に至るまでに、実際にどのように詠まれ、人々の暮らしの中でどのような役割を果たしていたのか、和歌の文化史を簡単な文章と絵で分かりやすくたどった一冊です。



予約本ベスト5

令和元年8月15日～

令和元年9月15日受付

一般書

- 1位『希望の糸』 東野 圭吾/著、講談社
- 2位『さよならの儀式』 宮部 みゆき/著、河出書房新社
- 3位『罪の轍』 奥田 英朗/著、新潮社
- 4位『落日』 湊 かなえ/著、角川春樹事務所
- 5位『のっけから失礼します』 三浦 しをん/著、集英社
- 『むらさきのスカートの女』 今村 夏子/著、朝日新聞出版

児童書

- 1位『ころべばいいのに』 ヨシタケ シンスケ/作、ブロンズ新社
- 2位『おしりたんていシリーズ』 トロル/さく・え、ポプラ社
- 3位『ざんねんないきもの事典 もっと』 今泉 忠明/監修、高橋書店
- 4位『オニのサラリーマン じごくの盆やすみ』 富安 陽子/文、福音館書店
- 『きみの存在を意識する』 梨屋 アリエ/作、ポプラ社

図書館に聞いてみよう！

【今月の事例】 どんぐりを食べてみたい！

A ア『どんぐりの食べ方』

(井上 貴文/著 2004年/素朴社)

イ『どんぐりだんご』

(小宮山 洋夫/さく 2004年 福音館書店)

ウ『野山のデザート』

(新田 聡子/著 2006年 地球丸)

エ『チャレンジ！どんぐりクッキー』

(平田 昌広/ぶん 2012年 大日本図書)

“どんぐり”とは、ブナ科の木の実の総称。種類によっては渋みが強く、調理の前にアク抜きが必要。アの資料では、どんぐりの形と葉のイラストで種類を判別できて便利。

- ① どんぐりを水に入れる。浮くのは虫がいたり古いものなので取りのぞく。
- ② ペンチなどで殻を割り、むく。
- ③ 沸騰したお湯に実を入れて、ゆでる。アクの強いものは水を変えて煮る。イの資料では重曹を入れている。
- ④ 丸ごと食べる場合は、炒ったりおこわにする。
- ⑤ すり鉢やミキサーで粉にすると料理の幅が広がる。クッキーやおだんご、クレープなど。

その他、アでは味噌、ウでは豆腐の作り方を紹介している。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についても調べたいです。お気軽にご利用ください。

FMまつもと 今月の出演

10月10日(木) 12:30～

チャンネル：79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください。



f フェイスブックやっています

松本市図書館 アルプスの山々



フェイスブック QRコード